**SDGs達成に資する多国間研究協力**

**STAND（‘Science, Technology and Action’ Nexus for Development）**

**日本側応募申請書**

**１-１．研究提案課題名**

*※日本語課題名はe-Radでの入力と同一。英語課題名は相手側研究代表者の申請登録内容と同一。*

　日本語：

　英　語：

**１-２．（１）JSTより支援を受けた研究課題名**

　日本語：

　英　語：

　支援プログラム名（*※SATREPS、e-ASIA、aXisのいずれかを記載）*：

**１-２．（２）UKRIより支援を受けた研究課題名**

　英　語：

　支援プログラム名（*※GCRF、Newton Fundのいずれかを記載）*：

**１-２．（３）（フィリピンの研究者が含まれる場合）支援を受けた研究課題名**

　英　語：

　支援プログラム名（*※もしわかれば）*：

　支援機関（*※JST、UKRI、DOSTのいずれかを記載）*：

**２-１．（１）日本側研究代表者**

*※ 所属・役職は正式名称であることを確認。*

　日本語：　科学 太郎

　日本語：　組織名 部署名 役職

　英　語：　Taro KAGAKU

　英　語：　役職 部署名 組織名

　届け先住所：　〒

**２-１．（２）日本側研究分担者**

*※日本側研究参加メンバーのうち、研究代表者以外で、JSTと委託研究契約を締結し研究費を受領して研究を進める予定の方について記載。研究代表者と異なる機関に所属し、自身の所属機関において、直接委託研究費を受領し、執行する（会計処理を行う）方が該当*。

**２-２．相手側研究代表者（英国）**

*※ 日本語表記は日本側研究代表者が作成のうえ必要に応じて相手側研究代表者へ確認。*

　日本語：　ジョー・サイエンス

　日本語：　組織名 部署名 役職

　英　語：　Joe SCIENCE

　英　語：　役職 部署名 組織名

**２-３．相手側研究代表者（*東南アジア参加国（国名を記入）*）**

*※ 日本語表記は日本側研究代表者が作成のうえ必要に応じて相手側研究代表者へ確認。*

　日本語：　ジョー・サイエンス

　日本語：　組織名 部署名 役職

　英　語：　Joe SCIENCE

　英　語：　役職 部署名 組織名

**３．課題説明文**

　*※ 日本語は****１文****、英語は****２文以内****で研究の対象と意義をまとめる。*

　日本語：　本研究は、・・について・・することで・・を目指すものです。

　英　語：

**４．課題概要**

　*※ 日本語は****３５０字以内****、英語は****１０００字または１５０単語以内****でまとめる。非専門家でも読解可能な表現とし、図表を用いても構わない。*

　日本語：

　本研究は、・・を目的とする。具体的には、日本側チームは・・を行い、英国側チームは・・を行い、*東南アジア参加国（国名を記入）*は・・を行う。チームによる共同研究を通して・・が期待される。

　英　語：

**５．日本側研究費**

※日本円（千円単位）で研究費を記載。

間接経費は30%とし、直接経費と間接経費の合計額は500万円を上限とします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | Type of costs | Total / Yen |
| Direct Expense | Research Materials |  |
| EquipmentList of equipment to purchase |  |
| Travel and Living expenses |  |
| Personnel cost |  |
| Others (including Network Meetings/ Workshops / Outsourcing) |  |
| Subtotal |  |
| Overhead Expenses (30% of the sum of direct expense.) |  |
| TOTAL |  |

＜以下は日本語のみ＞

**６-１．共同研究の背景**

*※ １００文字以内で、提案の社会的背景と学術的背景を含める。*

**６-２．共同研究の目的**

*※ １２０文字以内で、研究成果から将来もたされうる社会課題や人間生活へのインパクトを含める。*

**６-３．共同研究の達成目標**

*※ １２０文字以内で、既存研究・技術などベンチマークとなる****定量指標との比較を図示****する。*

*※ ５-２の目的に照らして本研究で達成を目指す目標の位置づけを示す。*

**６-４．共同研究とする意義**

*※ 日本側と相手国側の強みを具体的に示すとともにそれらの相乗効果を説明する。*

*※ 両国各１２０字以内、相乗効果１２０字以内、合計３６０字以内＋図表（任意）*

**７．備考欄**

*※ 公募要領（後半部分の公募要領別紙の第2章「公募・選考における利益相反マネジメントの実施」の(2)PIの利益相反マネジメント、(3)JSTの利益相反マネジメント）を参照の上、「PIに関係する機関」を参画機関とする場合、もしくはJSTの出資先企業を参画機関とする場合には、この欄に申告。*

*※ e-Radの研究目的欄へは5-2の内容を、研究概要欄へは4の内容を転記してください。*

※法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応について、提案内容に照らして各項目の該当／非該当を選択してください。該当する場合は「□」を「■」と記載してください。（複数選択可）

「その他」に該当する場合、内容を具体的に記載してください。

|  |
| --- |
| **法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応** |
| （１）安全保障貿易管理に対する取組を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 試料、装置や情報を相手国・地域に持ち出し、提供する予定である□　リスト規制、キャッチオール規制に該当しない□　リスト規制に該当し、適切に輸出措置を行う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　キャッチオール規制に該当し、適切に輸出措置を行う（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （２）生物遺伝資源等利用に伴う各種規制に対応する必要がある研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 遺伝資源を含む試料等を相手国・地域に持ち出し、提供する予定である日本国内で遺伝子組換え生物等を用いる際の規制措置に該当する□　カルタヘナ法を遵守し、各種申請を適切に行う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　名古屋議定書の国内措置であるABS指針に従う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　その他（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （３）個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」 | 個人情報を伴う調査・研究等を実施する予定である□　個人情報保護に関する法律を遵守する　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （４）知的財産等の取扱に対する配慮が必要な研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 試料や装置、研究情報や結果を相手国・地域と共有する予定である□　国際共同研究契約を締結する□　秘密保持契約を締結する□　物質移動合意書を締結する□　その他（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （５）・生命倫理及び安全対策に対する取組を必要とする研究・人権及び利益の保護の取扱いに対応する必要がある研究・社会的・倫理的配慮を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  [□該　当] | （　　　　　*該当する場合、研究内容および対策への取り組み**について具体的に記載ください*） |

**上記のとおり相違ありません。**

20XX年　　月　　日

（所属機関名）

（所属部署）　　　　　　　　　（役職名）

（氏名）

安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催し承認を得る旨の確認書を、申請書とともにJSTに提出してください。やむをえない事情などにより、確認書の提出が公募締切に間に合わないと見込まれる場合は、事前にstand@jst.go.jpまでお問い合わせください。

令和　　年　　月　　日

**確認書**

国立研究開発法人科学技術振興機構　御中

 　　 （研究代表機関）

 　 機関名

 　 機関長名 　　　 公印

SDGs達成に資する多国間研究協力STAND（‘Science, Technology and Action’ Nexus for Development）に提案する下記の研究提案が採択された場合、研究実施にあたり、安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催して承認を得ることを研究機関の責任として確認します。またそれらのための適正な管理を行う環境や体制を整えます。

記

○提案課題名　　　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

○研究代表者　　　　　所属部署

役　　職

氏　　名